

晴海総合 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 詳述公共・実教出版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。	人間とは何か ライフサイクルと青年期 欲求	(知) 青年期における自己形成の課題や、現代の青年の課題について、心理学の見方・考え方を理解している (思) 人間について、自己と他者の関係をとらえて考察することができる 生きること・人生について、人格形成と社会の関係をとり、考察することができる (知・思) 人間の行動と欲求の関係について、心理学の見方・考え方を理解し、考察することができる (学) 知識理解をもとに、自身の自己形成や他者および社会との関係について、考察し、言葉で表現することができる。	○	○	○	9
前期	現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。	ギリシアの思想と哲学 宗教	(知) ソクラテスがアテナイ市民に無知の自覚を求め、問答による探究を説いた意図について理解している。(知) プラトンが考えた理想主義の真理について、どのような概念で何を指示しているかを理解している。(知・思) アリストテレスの考え方について、プラトンの考え方と対比して、その違いを指摘できる。 (思) ソクラテスやプラトンの求めた人間の生き方について、考察することができる。(学) 哲学を実践し、自己の置かれた状況や日常について、よく考え、気づきを得ようとしたり、再認識しようとした。 (知) ユダヤ教と原始キリスト教の教えについて、世界の成り立ちや生きる意味について、どのようにとらえていたかを理解している。 (知) イスラームの誕生と信仰や実践について、預言者が説いている内容の特徴について、理解している。(知) 原始仏教について、ゴータマの悟りの内容について理解している。 (思) 人の行いや人生を導く宗教の教えについて、人間のどのような側面に着目しているかを理解し、人の行いやあり方について、具体例を用いて考察することができる。(学) 人の行いや他者との関係について、三大宗教のキーワードをとらえて、考察したり、自分	○	○	○	12
	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。	公正と正義 民主政治の基本原則	(知) 思考実験「共有地の悲劇」を通じて、各人の思惑や行動がどのような結果をもたらすかについて、多面的・多角的にとらえることができる。(思) 思考実験「共有地の悲劇」を通じて、各人の行動選択や生じる結果について、他の生徒の考えを参照したり比較したりしながら考察できる。(学) 自分の考えをわかりやすく伝えてグループ内で共有するとともに、他の生徒の主張を聴いて、根拠や着眼点を確認し、考えを深めることができる。 (知) 政治や権力について、社会の中でのあり様をとらえて、市民革命によってどのような変化があったのかを理解している。(知) 人権保障、民主主義の発展について、経緯及び課題について理解している。(思) 民主政治の基本原則の成立過程を踏まえて、果たすべき機能や実現すべき状態について、考察することができる。(学) 教科書の内容を踏まえて、身近な諸問題に関心を向け、関連を自ら見つけて、考察することができる。	○	○	○	9

後期	<p>・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。</p>	政治参加	<p>(知)各国の統治機構のしくみについて、理解している。(知)選挙の意義と選挙制度の形態および特徴について理解している。(思)わが国の統治機構や選挙制度について、現状や課題をとらえて、考察することができる。(学)わが国の統治機構や選挙制度について、現状や課題をとらえて、自分の考えをまとめて発表し、他の生徒と議論することができる。</p>	○	○	○	9
	<p>・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p>	市場経済と日本経済	<p>(知)わが国の経済が第二次世界大戦後に民主化され、経済復興を果たした過程について、理解している。(知)資本主義経済や市場経済の課題について、日本経済の歩みを踏まえて、背景や原因について理解している。(思)日本経済の現状や歩みを踏まえて、これからの社会を構想し、解決すべき課題について、考察することができる。(学)経済的な見方・考え方を働かせ、主体的に諸問題を見つけ、課題を指摘することができる。</p>	○	○	○	9
	<p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p>	国民福祉と国際政治	<p>(知)雇用や労働の法制度、社会保障制度について、意義や役割について理解している。(知)人口減少社会や財政状況について、生じている問題や始まっている取り組み・対策を把握している。(思)これからの社会を構想し、多様な視点で多角的に諸課題について、考察することができる。(学)自分の人生や将来と関連付けて、これまでの学習で身につけた見方・考え方を働かせ、諸問題を見つけて課題を指摘し、背景を踏まえてあるべき姿を述べたり、根拠をとともに意見を主張したりすることができる。</p>	○	○	○	9